

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 17 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 7 月 21 日 作成

事務事業名		土地開発基金財産取得事業(上庄西部清掃工場跡地隣接地取得)			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	総務企画部	課長名	中島 正剛
	施策	24	行財政改革の推進		所属課	財政課	担当者名	鎌野 文昭
	基本事業	83	計画的な施策・事業の推進		所属班	財政班	(内線)	1232
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市土地開発基金条例、合志市財産管理規則、合志市普通財産管理及び処分に関する事務処理要領	
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (20 ~ 21 年度)			
						成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・土地開発基金で土地の取得を行う。・平成20年10月3日所有者の破産手続きが開始となった際、破産管財人から取得の打診があった。市の所有地(西部清掃工場跡地(15,952㎡))に抱き込まれるような形で市道に接した位置にあり、この西部清掃工場跡地の利用や処分を考える際に一体として保有する方が財産価値として上がることが見込めた。なお、西部清掃工場跡地は、市の企業誘致候補地として位置づけが行われている。 ・土地開発基金財産による土地の取得は、公共用地の先行取得を行い効率的な事業を行うことを目的としていたが、現在地価の高騰は見られず、先行取得した用地が不良資産化することも考えられるが、今回の事業は既に存在する西部清掃工場跡地(15,952㎡)を有効に活用あるいは処分する際に十分寄与すると考える。
【業務の流れ】	・事業対象土地は、破産手続き中の土地であり、裁判所との協議により買収手続きを行う。・抵当権者である金融機関と抵当権抹消手続きの協議を行う。・裁判所との手続きを行い、土地開発基金で土地の取得を行う。 土地1. 所在: 合志市上庄字中沖1740番1 地目: 雑種地 地積: 1,346㎡ 土地2. 所在: 合志市上庄字中沖1741番1 地目: 宅地 地積: 762㎡
【主な予算費目】	土地開発基金
【意見や要望】	監査委員、議会等からは未利用の普通財産の売払い等、早急な処分、対応を求める声がある。 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)		無し	
土地開発基金で土地、建物を取得した。 取得日:平成21年4月10日 登記完了日:平成21年5月12日			
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)	(単位)	
⇒ア取得する土地及び建物の面積	㎡	イ取得価格	円
②対象(誰、何を対象としているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標		(単位)
土地開発基金で取得する土地及び建物の面積	⇒ア土地及び建物の面積	㎡	
	⇒イ取得価格	円	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標		(単位)
土地開発基金で土地を先行取得し、公共事業の用に供する。	⇒ア土地の面積 2,108、建物の面積 156.02	㎡	
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠			
公共事業用地とすることが目的であるので、それに供する面積とした。			

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	㎡			2,108	2,108			
	イ	円			5,402,804	6,850,000			
⑤ 対象指標	ア	㎡			2,108	2,108			
	イ	円			5,402,804	6,850,000			
⑥ 成果指標	ア	㎡			0	2,108			
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円				6,850,000		
		一般財源	千円						
	(A) 事業費計	千円		0	0	0	6,850,000	0	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件費	正規職員従事人数	人			2	2			4
	延べ業務時間	時間			20	15			30
	(B)人件費計	千円		0	0	80	60	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円		0	0	80	6,850,060	0	0

総トータルコスト
全体計画
20 ~ 21 年度
6,850,000
6,850,000
4
30
119
6,850,119

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	土地開発基金財産取得事業(上庄西部清掃工場跡地隣接地取得)	所属部	総務企画部	所属課	財政課
-------	-------------------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成21年度の事業内容のとおり完了した。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 平成21年度で事業完了した	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

平成21年度で事業完了した
